



日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒102-0076
東京都千代田区五番町7番地
www.hp.com/jp

お客様各位

2007年2月

ソフトウェア情報サービス

OpenView アップデートリリースのご案内

- **OpenView Connect-IT 3.7**
- **OpenView TeMIP5.31**
- **OpenView SelectIdentity Connectors 02/2007**
- **OpenView AssetCenter5.00**

Connect-It 3.7 ソフトウェア リリースのご案内

アップグレード申し込み期限:2008年1月31日

Connect-It 3.7 ソフトウェア リリースについてお知らせします。

Connect-It 3.7 は、新しいコネクタ Java SDK により、他社製アプリケーションと自社開発アプリケーションとの統合を可能にします。このリリースでは、新しくスクリプトデガッパ、導入のシナリオを管理するための Web ベース管理コンソールが追加され、ServiceCenter 6.2、DecisionCenter 1.0、Compliance Manager 2.0 をサポートします。

さらに充実の機能が加わった HP の「資産&サービス管理」製品をぜひご利用ください。

TeMIP 5.31 ソフトウェア リリースのご案内

アップグレード申し込み期限:2008年1月31日

TeMIP 5.31 新規メディア リリースについてお知らせします。

今回のリリースには TeMIP NNM Advanced Integration 5.3 が含まれます。これは次世代のネットワークやサービスのための完全な OSS ソリューションを提供します。サービスプロバイダは、シングル ベンダによる統合 OSS ソリューションのメリットを享受することで NGN (次世代ネットワーク) の運用を非常に効率的に行えるようになり、運用コストの削減、ユーザの満足度向上にも役立てていただけます。

主な機能と特長:

- 単一で強力な OSS IP 管理コンソールにてテレコムと IP ネットワークを同一に管理を行えるため、運用コストの低減が可能
- 物理ネットワークからアクセス ネットワーク (TeMIP、Network Node Manager、Route Analytics Management System を使用) まですべてのトポロジを表示 — これにより原因の分析とサービスへの影響を把握することが可能



- 新しい IP デバイスやサービスを低コストで容易に導入可能。自動ノード検出、TeMIP エンティティ数、TeMIP アラームへのデフォルト イベント マッピングを設定
- End-to-End のサービス ビューを使った管理により操作効率が向上
- 以下を柔軟に制御できるツールを備えた Advanced Integration 機能
 - ネットワークまたはサービス モデル (柔軟に階層的なマッピングが可能)
 - NNM イベントを TeMIP で使用する ITU-T 準拠の X.733 アラームに変換
- 分散並びに拡張性において多様な構成の展開が可能

現在 TeMIP を HP-UX 11.11 (PA-RISC) または HP 11.23 (Itanium) でご利用の場合、または弊社より NNM 7.51 Advanced Edition をご提案させていただくお客様の場合、今回のリリースにより、以前の TeMIP NNM AM よりもさらに強力かつ効率的な統合が可能になります。

TeMIP Service Monitor 5.3

TeMIP Service Monitor 5.3 のマイナー アップデートには、強化された Root Cause Analysis 機能が多数含まれており、パフォーマンスと操作性が向上しています。

主な機能:

- HP-UX 11.23/Itanium、HP-UX 11.11/PA-RISC および Tru64 5.1 の各環境 (クラスタ環境含む) で利用可能
- Root Cause Analysis を向上させる次のような新機能を搭載
 - アラームの 生 データを付属情報も含め転送し、ステートの計算を綿密に実施
 - ステート計算およびアクション プロファイル用の C++ プラグイン
 - 上記プラグインの使用方法に関する操作例
- TeMIP Service Monitor 5.1 以前に備わっている複数の機能や改善機能を統合 (データのロード、“What-if” シナリオなど)

TeMIP Alarm Acknowledgement 5.3

TeMIP Alarm Acknowledgement 5.3 のマイナー アップデートでは、3GPP 準拠のインタフェースが加わりました。これにより、アラームの un-acknowledgment とコメントの情報を双方向 (上り/下り) に転送できます。

主な機能:

- コメントやオペレータ ノートの双方向伝送が可能
- ユーザ ID 伝送により、アラームの acknowledgment /un-acknowledgment をサポート

TeMIP 修正リリース

- TeMIP Framework 5.0 修正パッチ 6 は以下に対応しています。
 - Oracle 9.2.0.7 をサポート
 - HP-UX 11.23/Itanium、HP-UX 11.11/PA-RISC および Sun Solaris 8/9 の各環境で利用可能
 - TeMIP デクシオナリを共有メモリに保持
 - 列挙値の制限を削除
 - 報告されていた問題の修正



日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒102-0076
東京都千代田区五番町7番地
www.hp.com/jp

- TeMIP Client 5.3 修正レベル 2 には次の機能が含まれています。
 - 複数のディレクティブビューをサポートする新しい TeMIP ディレクティブ プラグイン

充実した機能が加わった HP の TeMIP 製品をぜひご利用ください。

HP OpenView Select Identity Connectors 02/2007 ソフトウェア リリースのご案内

アップグレード申し込み期限:2008年1月31日

HP OpenView Select Identity Connectors 02/2007 ソフトウェア リリースについてお知らせします。

本リリースでご案内する HP Select Identity Connector は、Select Identity バージョン 3.3.1 と 4.0、および 4.1x での使用がサポートされています。ただし、中にはサポート状況が異なるコネクタもございますので、サポート環境の詳細については、コネクタに関するドキュメントを確認してください。

Select Identity の旧バージョン (バージョン 3.3.1 以前およびバージョン 4.0) と古いコネクタをお使いで、最新バージョンへの移行計画やスケジュールの相談をご希望のお客様は、HP の担当窓口または販売提携会社までお問い合わせください。

HP Select Identity Connector の詳細については、メディアに収録されている *readme.htm* ファイル、各 Select Identity Connector については、関連する *リリースノート* を参照してください。

HP Select Identity Connector の製品マニュアルは、メディアにも収録されています。製品マニュアルは、新規利用のお客様とアップグレードのお客様の両方を対象に構成されています。*リリースノート*には、各コネクタの特定の使用制限の一覧が掲載されています。

HP ソフトウェアをお使いのお客様は、無償で HP Software Customer Connection プログラムに参加できます。このプログラムのメンバーシップに登録すると、さらにコミュニケーションの場が広がり、メンバー専用のトレーニングやツールがご利用になれ、HP ソフトウェアへの投資を最大限に活用することができます。メンバーシップに登録すると、次のサービスや情報がご利用になれます。

- 参加型の包括的なメンバー Web サイト
- HP の意思決定者やソフトウェアの部門スタッフとの対話的コミュニケーション
- 目的に沿った簡潔なメンバー専用のトレーニングと教育
- イベントとメンバー活動
- 主力メンバーのプロファイルと成功談
- メンバー特典
- HP のソフトウェア部門が継続的に行なっているフォーカス グループや調査への参加

メンバーシップ ポータルから、このプログラムの詳細をご確認いただけます。今後予定されているオンライン トレーニングや、アーカイブされたオンライン トレーニングを検索してみましょう。このように、このプログラムには多くの利点があります。ご登録はこちらから、www.hp.com/go/swcustomerconnection

このドキュメントは、HP Select Identity Connector の LTU の初回購入時に取得するライセンス証明書と一緒に保管しておくことをお勧めします。



日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒102-0076
東京都千代田区五番町7番地
www.hp.com/jp

HP Select Identity と HP のアイデンティティ&アクセス マネジメントの全体的なポートフォリオの最新情報については、Web サイト <http://h50146.www5.hp.com/solutions/infrastructure/security/>、HP 営業担当、または 販売提携会社にお問い合わせください。

HP OpenView AssetCenter 5.00 リリースのご案内

アップグレード申し込み期限:2008年1月31日

現在HP OpenView AssetCenterをお使いの場合はこのアップデートリリースについてお知らせします。

HP OpenView AssetCenterの新機能

HP OpenView AssetCenterには、以下の新しい機能拡張が行われています。

- 現代的なオープンスタンダードアーキテクチャ
 - Windowsクライアントとほぼ同機能の新Webユーザインタフェース
 - 業界標準のJ2 EE Webアーキテクチャに基づく
- すぐに利用できるビジネスサービス
 - より大規模な影響分析と資産活用のためのビジネスサービスとモデル関係作成のためのサービスモデリングウィザード
- ソフトウェア資産管理モジュールの機能拡張
 - ユーザプロファイル管理により、個々の業務に合わせたユーザの役割と責任の設定が可能
 - テンプレートにより、購入ライセンス数、使用状況などの確認が容易に
- ゲストユーザへのライセンス供与
 - アプリケーションのライトユーザに低価格のライセンスオプションを提供
 - ユーザは物品またはサービスへのリクエストをシームレスに表示、承認、提出可能
 - 資産の表示だけでなく、部署内のその他の資産の表示へのアクセスを提供する権限をユーザに提供
- 利用可能な言語
 - AssetCenter 5.00は現在英語、日本語、フランス語、イタリア語、ドイツ語、スペイン語、中国語(簡体字)、韓国語のUnicodeで利用可能です。

製品機能すべてのリストと詳細については、以下のWebサイトでHP OpenView Asset Center 5.00製品概要をご覧になるかダウンロードしてください。 <http://www.managementsoftware.hp.com/products>

互換性とサポートの終了について

HP OpenView AssetCenter(以前のPeregrine AssetCenter製品)のLTU(license-to-use)を含むサポート契約をお持ちのお客様にはアップデート申し込みの権利があります。

HP OpenView AssetCenter 5.00に移行されると、以下の製品へのサポートが受けられなくなりますので、ご承知おきください。

- Infrastructure for Workgroups (ICW)およびPDIスキャナ(すべてのバージョン)
- Desktop Administration for AssetCenter(すべてのバージョン)
- バーコード



日本ヒューレット・パッカード株式会社
〒102-0076
東京都千代田区五番町7番地
www.hp.com/jp

移行への準備

HP OpenView AssetCenter 5.00に移行されるには以下を行っていただく必要があります。

- 1) 添付のリリース申込書を使用してHP OpenView AssetCenter 5.00メディアキットを請求する。
- 2) アップグレードガイドとリリースノートを使用して、旧バージョンからのアップグレードを計画、実行する。すべてのマニュアルはメディア上にPDFファイルで提供されています。サポートされているプラットフォームに記載されているハードウェアおよびソフトウェアの要件を満たすシステム上にインストールの計画がされていることを確認してください。

サポート：

HPソフトウェアを購入されたすべてのお客様は、HP Software Customer Connectionプログラムに無料で入会することができます。本プログラムに入会されると、より多くのコミュニケーション、トレーニング、ツールなど、HPソフトウェアへの投資を最大限に活用するためのサポートをご利用いただけます。本プログラムの詳細については、以下のWebサイトをご参照ください。<http://www.hp.com/go/swcustomerconnection>

HPは、HP OpenView AssetCenter 5.00のリリース後に、このリリースの機能と利点を扱う複数のトレーニングの提供を予定しています。このプログラムのメリットとHP OpenView AssetCenterトレーニングの詳細については、会員ポータルをご覧ください。<http://www.hp.com/go/swcustomerconnection>

サポート終了に関する用語とガイドラインの詳細については、www.hp.com/managementsoftware/obsoleteを参照してください。